



5月号

学校だより

# みどりの

学ぶ当事者 支える当事者 緑野小学校

- 考え伝え合う子
- 心豊かな子
- 元気な子
- やりぬく子

令和6年4月30日

## 時を守り 場を浄め 礼を正す

校長 大塚 恭子

桜の花に歓迎されて始まった新年度も、新緑の季節を迎えました。芽吹く青葉のように子どもたちもすくすくと成長しております。先日は懇談会へのご参加、誠にありがとうございました。

さて、4月に行われた6年生の学年集会で、教育哲学者である森 信三（もり しんぞう）氏の言葉、「時を守り 場を浄め 礼を正す」について話をしました。この言葉に出会ったのは、私が教師になって10年目くらいの頃です。以来、教育信条の一つとして大切にしてきました。

「時を守り」とは時間を守ること、「場を浄め」とは掃除をすること、「礼を正す」とは挨拶や返事をしっかり行うことです。特に、挨拶は良好な人間関係を築いていく上での基本です。挨拶という漢字の「挨」には「心を開く」、「拶」には「相手に迫る」という意味があるそうです。心にドアがあるとしたら、トントンとノックするような感じですよ。

本校の今年度の重点目標は「当事者意識:人に頼らず 自分から 相手意識:相手をよく知り大切に」です。人と関わる力を身に付ける最初の一步が、挨拶なのではないかと思います。私たち大人も心を開いて相手に迫る挨拶を率先して行い、子どもたちのよき手本になりたいものです。

現在、ゴールデンウィークに入っております。祝日の意味を考えながら、季節を感じたり、日本の伝統文化を体験したり、古人の考えや歴史を紐解いたりして、過ごしていただけたらと思います。